

明治大学 2019 年度【春期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修先名	ワシントン大学
-------------	---------

所 属	理工学部 情報科学科 2 年
------------	----------------

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

現地の授業では、教科書を使って文法を学ぶだけではなく、二回のプレゼンや、映画“Sleepless In Seattle”を見ての内容理解、イディオムの解説、週約二回のフィールドトリップなど、様々な取り組みが行われた。基本的にクラスメートとの話し合いなどスピーキングをする機会が多く、日本ではスピーキングはなかなかやる機会がないので、苦戦をした。また、映画を使った学習では、地元が舞台になった映画で日本の学校ではなかなか習わないフレーズを多く学習できた。それとともに、ネイティブのスピードを聞き取ったり、字幕を見たりしながら内容を理解するという良い練習になった。プレゼンでは、うまく伝えるコツやスライドの使い方なども学んだ。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

この研修では午前中しか授業がなかったため、非常にシアトル市内を堪能することができた。シアトルには、スターバックスやマイクロソフト、アマゾン等の本社があり、アメリカの会社の雰囲気を知ることができた。特にアマゾンのスフィアという植物園型ワークスペースには驚いた。また、航空産業も盛んであり、ボーイングの工場、航空博物館なども訪れた。理系の自分には大変興味をそそられ、貴重な経験となった。課外活動では、ベインブリッジ島に行くフェリーでの経験が一番印象に残っている。運良く快晴で、とてもきれいなダウンタウンやレーニア山を見ることができた。24 時間開いている図書館やボーリングができる hub など、大学の施設の充実さにも衝撃を覚えた。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

シアトルはアメリカでも治安のいい方の街という話を聞いていたが、そんな街でもある程度危険が伴っていることに驚いた。自分自身、怪しい人に声をかけられたり叫ばれたりした経験があり、とても怖かった。また、思ったよりもお酒などの規制が厳しいことに驚いた。路上で飲むなどの行為は見られなかったし、外でお酒を持っている人も見られなかった。また、バスが多く走っていたが、上の電線とつながった全部電動で走っているバスがあることにも驚いた。ごみの分別なども含め、環境に気を使っているなど感じた。服装については、かなりラフな人が多い印象だった。また、地元のスポーツチームや大学の服を着ている人が多く、地元愛が強いなど感じた。

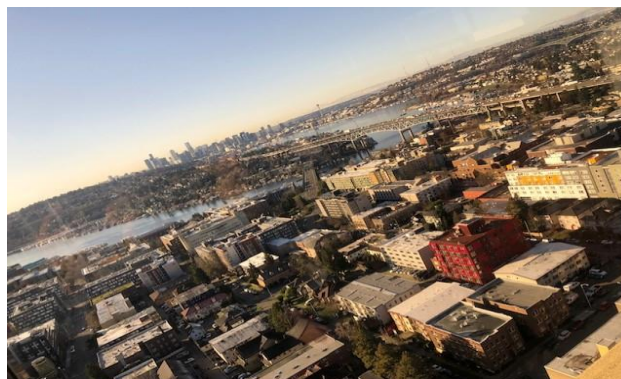
今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

英語はある程度自信があったが、リスニング、スピーキング能力が最低限程度しかできず、現地で生活するレベルにははるかに達していないことに悔しさを覚えたので、これからは毎日英語の動画を見て聞き取る能力を養ったり思ったことを英語で口に出す練習をしたりして継続して英語を勉強していきたい。特に単語の部分は、受験で勉強したたくさんの単語が出てこなくなっていることに危機感を覚えた。これからは 3 年生になり英語の授業がなくなるので、自分から積極的に英語を使えるよう頑張りたい。そして、また次に海外に行く機会があった時には少しでも成長してより複雑な意思疎通を図りたいと思う。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

UW タワー最上階での写真
ここで一回クラスのグループワークを行った。



【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします (学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。